

行財政の基本方針は

基本は住民の声／町長



議員 照男 明神

況を見るべきではないか。

今こそ町の生き残りのために事業仕分けが重要な時である。見直しをしないとすれば予測される赤字への対応はどうするのか。

- ① 町政の基本方針。
- ② 事業仕分けと町の仕分け。
- ③ 情報整備の見直しを聞く。

問

大西町長御当選おめでとう。

当選後の町長談話に町民の声を聞き、一次産業の活性化をとの発言があった。

この町には町長の「志」を妨げる何かが有る様に感じるが、しがらみの無いと思われる町長に期待して質問をする。

政治とは我慢加減と云う。

庁舎移転、校舎、消防署建設等の大型事業が山積している。

情報基盤整備は大きな赤字となり、民間では考えられない。自主放送を一時止めて状

答

大西町長

- ① 基本方針は地域住民の意見を重視。産業振興は関連機関と連携。高齢化問題は実情把握等を参考に取組む。
- ② 事業仕分けは無駄が削減され評価すべきだが財政面で影響が出る。
- ③ 基盤整備は住民サービスのため見直しはしない。もし町財政の悪化が進むと、

当然の如く自分の報酬にも切り込まなければ成らない。

一次産業の活性化を問う

問題は3点／町長

産業育成

問

一次産業の活性化の取り組みは何か。狂牛病や宮崎の口蹄疫は動物性蛋白源としての食糧問題だ。

同じ食糧でも魚は何もコストを掛けず海の神さんが創る有難い物で、上手く利用すれば半永久的食糧資源である。

国の制度は獲った者勝ちで資源の枯渇や無駄なコストで漁業はどうにも成らない現状だが原因は何と考えるか。

答

大西町長

行政がすべて責任を持つものではなく個々の責任もあるが、

- 一、財務の強化。
 - 二、産業の活性化。
 - 三、仕事に誇りを持つ事。
- 故に可処分所得の向上。就業者数の確保が重要。

ソーラーと魚礁

自然と共生／町長

環境問題

問

国際会議に環境問題が出ん事は無い。外国で魚は漁業問題では無く、食糧問題として国策で魚を獲っている。

自然環境問題の認識と取り

組みの中でソーラーの助成と魚礁はやらないかを聞く。

答

大西町長

私達が生きるには自然破壊は避けて通れないが共生と再生を念頭に自然が有限である認識は持っている。

ソーラー問題は、設置者への助成は検討中で、実施か否か今しばらく答弁を待つて欲しい。

魚礁は県が既存の魚礁を調査中。結果によって町も漁協との協議を考えている。

